

Sign Design + Graphic design

ホームページが新しくなりました。

安曇野高橋節郎記念美術館 http://www.town.hotaka.nagano.jp/setsuro_muse/

長野県穂高町にプランツアソシエイツ設計による高橋節郎記念美術館が、この6月にオープンしました。漆工芸作家で文化勲章受章者である高橋節郎氏の美術館。漆という伝統的な材料と技法を用いながら、新しい表現に挑戦していった高橋氏の芸術を、生地である安曇野の民家や蔵とともに紹介しています。

サイン計画では、安曇野の自然を愛し、それをテーマに創造した氏の理念と創造の原点を客観的に受け止め、古い建築の古色と現代の建築とがクロスオーバーする風景のなかに、静かに点在させています。

美術館の多い安曇野地域にまたひとつ新しいスポットが登場しました。

床と壁の連続サイン (香南町保健センター・社会福祉センター) 2003年SDA大賞に決定。

昨年オープンした香川県香南町の香南町保健センター・社会福祉センターのサイン計画が、第38回日本サインデザイン協会SDA大賞（経済産業大臣賞）に決定しました。このサインはゴムタイルの床材に同じゴムタイルでピクトグラムを象眼し、さらにそれを壁面へ連続させていった案内誘導システムです。また館内は保健センターと福祉センターのそれぞれのエリアを明確にするためにカラーリングをしています。偶然にも、サイン、色彩、床材

の開発と今まで携わってきたデザインの集大成のスペースとなりました。このようなプロジェクトで名誉な賞をいただくことになり大変喜ばしく思っています。なお、授賞式はデザイン年鑑(六耀社)発刊の12月です。



電通本社ビルサイン計画 2003年SDA優秀賞受賞

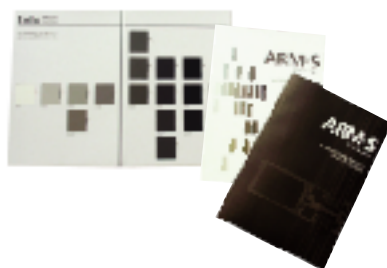
SDAグランプリの「床と壁の連続サイン」とダブル受賞で、汐留の電通本社ビルが商業サイン部門で優秀賞を受賞しました。電通本社は規模も大きく、オフィスとしての機能を満たすサインとしてはもちろんのこと、J・ヌーベルの建築デザインのメッセージを受け継ぐサインというテーマをもって臨みました。ガラスを用いたセラミックプリントのグラデーションやシリコンシートによる接着加工など、新しい技術にも挑戦しています。10月17日にSDAサインセミナー「最近の大型施設のサイン計画を語る」が予定されています。詳しくはHPでお知らせします。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑リーフレット

今年春に、墓苑の改修とともに行われたサイン計画の延長として、掲示ポスターやリーフレット、また千鳥ヶ淵とその周辺の歴史を案内するガイドなどを同じイメージでデザインしています。



「ARM-Sシリーズ」VI計画



三協アルミニウム工業から発売された省エネサッシ、遮熱塗装システムのVI計画及びカタログのデザインプロデュースを行っています。

Award 掲載情報

- 上記の他第37回SDA賞入選に香南アグリウム、汐留A街区サイン計画、青山学院大学相模原キャンパスが選ばれました。
- 世田谷自動車学校のカラー計画は第18回公共の色彩賞を受賞しました。
- 電通本社ビルサイン計画がSIGNS 108号に掲載されています。